

令和5年度 学校評価結果報告

1 調査内容 小学校16項目、中学校17項目の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

A そう思う B ある程度そう思う C あまり思わない D 思わない

	評 価 内 容	A	B	C	D	無	Aそう思う	B大体そ う思う	Cあまりそ う思わな い	D思わな い	無回答
1	本校の子どもは、あいさつができています。	11	9	3	0	0	47.8%	39.1%	13.0%	0.0%	0.0%
2	本校の教職員は、生活・行動面の指導を適切にしている。	10	13	0	0	0	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	0.0%
3	学校は、子どもに道徳性を育成するため取り組んでいる。	10	13	0	0	0	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	0.0%
4	学校は、いじめやのない学校づくりに努めている。	11	11	0	0	1	47.8%	47.8%	0.0%	0.0%	4.3%
5	家庭で、人権問題や学校での人権学習について話し合うことがある。	4	11	6	2	0	17.4%	47.8%	26.1%	8.7%	0.0%
6	学校は子どもと向き合い、子どもや保護者からの相談に丁寧に対応している。	16	4	1	0	2	69.6%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%
7	学校は教育方針、家庭への連絡、情報提供に努めている。	13	10	0	0	0	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%
8	本校の教職員は、学力向上のため指導方法等を工夫している。	12	7	3	0	1	52.2%	30.4%	13.0%	0.0%	4.3%
9	自分の子どもは、授業がよくわかり楽しいと言っている。	8	9	5	0	1	34.8%	39.1%	21.7%	0.0%	4.3%
10	子どもは家庭で本や新聞を読んでいる。	8	2	8	5	0	34.8%	8.7%	34.8%	21.7%	0.0%
11	学校は、感染症対策や防災教育等、命を大切にする取組を積極的に行っている。	11	12	0	0	0	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	0.0%
12	子どもは将来に向けて、夢や希望をもっている。	8	10	1	3	1	34.8%	43.5%	4.3%	13.0%	4.3%
13	学校は、保護者や地域の願いに応えようとしている。	12	8	3	0	0	52.2%	34.8%	13.0%	0.0%	0.0%
14	子どもは地域の行事に参加している。	13	5	3	2	0	56.5%	21.7%	13.0%	8.7%	0.0%
15	学校は、「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛する心を育てるように努めている。	13	10	0	0	0	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%
16	学校は、小中一貫校の特色をいかした取組を行っている。	13	8	2	0	0	56.5%	34.8%	8.7%	0.0%	0.0%
17	子どもは、目標をもって、部活動に取り組んでいる。	4	4	1	0	0	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%

2 考察

肯定率（A・Bで回答）が約 85.8 %で昨年度より約3ポイント上がり、全体的に保護者の満足度は高いと言える。なかでも、設問 15（ふるさと学習の推進）については保護者全員の方から肯定的な回答が得られた。「ふるさとを愛し、次世代を心豊かにたくましく生きる児童・生徒の育成」を学校目標に掲げ、「ふるさと学習」を通して地域と連携して子どもたちを育てることを目指している。今年度は学校運営協議会委員の方や地域おこし協力隊の方の協力の下、地域とのつながりをより強く持つことにより今までと違ったふるさと学習に取り組めたこともこのような評価を得られた一因ではないかと考える。今後も更に「ふるさと学習」の充実に努めたい。

その他、全員の方から肯定的な回答を得た設問として、設問 2（教職員の適切な指導）、設問 3（道徳性の育成）、設問 4（いじめのない学校づくり）、設問 7（情報発信）、設問 11（命を守る教育）、の6項目を挙げることができる。いじめのない学校、命を大切に取る取組で高い評価をいただいたことは大変うれしい限りである。安心・安全な学校づくりに今後も引き続き取り組んでいきたい。また、相談への対応や情報提供の項目については担任が中心となり、家庭との連携を密にし、良好な関係を築けた成果であると考ええる。

一方、否定的回答「Cあまりそう思わない」、「D思わない」の多かったのは昨年度と同様の設問 5（人権問題学習）、設問 10（読書）である。人権映画会や人権講演会などの行事を定期行事として行うだけでなく、啓発活動をより充実したものになるよう内容や方法について検討すると共に、日常の学校生活全般において人権教育に取り組んでいくことにより、一人一人の確かな人権意識を醸成していく必要がある。また、読書の習慣が子どもたちの生活に浸透していくよう、学校図書館の充実、絵本の読み聞かせ活動の継続、児童会・生徒会活動での委員会活動を推進していくことにより本に慣れ親しむ機会を増やしていきたい。

設問 9（授業がよくわかり楽しい）について 21.7%の方が「Cあまりそう思わない」と回答していることを真摯に受け止め改善に努める必要がある。子どもたちにわかる授業を展開していくことが学力の向上につながる。教職員がさらに研鑽を重ね授業力の向上を図っていかなければならない。

3 総括

令和6年度は徳島県初の小中一貫校としては8年目をむかえる。「ふるさと学習」を核とした小中一貫教育を一層推進し、小規模小中一貫校の強みを生かした教育活動を発展的に展開していきたいと考える。来年度も共楽運動会の実施をはじめ、地域の方に学校に足を運んでもらう機会を増やし、地域との連携を一層深めていくことで地域とともにある学校づくりに努めていきたい。